

中世前期における越前若狭の輸入陶磁器

阿部 来（勝山市教育委員会）

はじめに

中世前期の輸入陶磁器は、諏訪間興行寺遺跡や厨海円寺遺跡、木崎遺跡といった重要事例が近年報告され、資料数が急増した（図1、表1）。今回は集成により様相を整理し、地域における拠点と流通について見通しを述べたい。

1. 出土傾向の整理

12世紀以前の輸入陶磁器は、白山平泉寺旧境内、豊原寺跡、厨海円寺遺跡、木崎遺跡、西縄手遺跡、加茂遺跡などから出土している。越州窯系青磁は、駅家である木崎遺跡、寺跡の可能性が高い鐘島遺跡のほか、福井城跡下層で報告例がある。今後、国府周辺の状況が明らかとなれば、様相が一変する可能性もあるが、この段階では輸入陶磁器はごく限られた階層の所有物といえる。

平安時代末から鎌倉時代の輸入陶磁器について、報告書に図示されたものを見ると、白磁碗II・IV・V、龍泉窯系青磁碗I・IIなどが多い。12世紀以降は、それ以前に比べ輸入陶磁器の量と種類が増加し、幅広い階層に受容されたことが明瞭である。また、同安窯系青磁の報告例は、平泉寺周辺や九頭竜川流域に多い。白磁四耳壺、青白磁合子、青白磁梅瓶、青磁酒会壺など食膳具以外の品々は、経塚のほか、拠点的な遺跡で出土している。

2. 地域の拠点と日本海流通

輸入陶磁器の出土量に注目すると、平泉寺では中世前期の碗皿類401点が出土し、時期別の内訳はC期:D期:E期:F期=52:129:127:93となる。また、白磁壺類103点、青白磁83（仏像・花生除）点をあわせると、中世前期の輸入陶磁器は計587点/5446m²、m²当たり0.107点となる。平泉寺周辺の集落である猪野口南幅遺跡では、碗皿類12点、C期:D期:E期:F期=2:2:6:2が出土している。青白磁梅瓶1点を含め計13点/1800m²、m²当たり0.007点である。

平泉寺の発掘調査は、石畳道や石垣といった中世後期の遺構面を保護することが前提であり、中世前期の状況を直接知ることは難しい。それでも、輸入陶磁器の出土量は、周辺の猪野口南幅遺跡、大渡西布遺跡、荒土杉原遺跡、三谷遺跡などの集落遺跡に比べて圧倒的に多い。平泉寺は、中世前期においても豊富な輸入陶磁器を所有していた。

また、流通という視点からは、厨海円寺遺跡や山田中世墓といった沿岸部の遺跡において、中国製陶器壺が出土していることに注目したい。これらは流通の副産物といえるものであり、小浜や敦賀を経由する日本海海運が経路として機能したことを示すのであろう。

おわりに

三国湊に近い東尋坊は、寿永年間の平泉寺僧に由来するとの記述が『朝倉始末記』にある。また、平泉寺には東尋坊跡、周辺には唐人坊田という地名が残る。これは日本海流通と寺社との関わりや、その扱い手を示唆するものではなかろうか。さらに検討を進めたい。

*資料調査等でご配慮、ご教示いただいた赤澤徳明、岩田隆、鈴木篤英、中島啓太、藤本康司、宝珍伸一郎の各氏に感謝申し上げます。

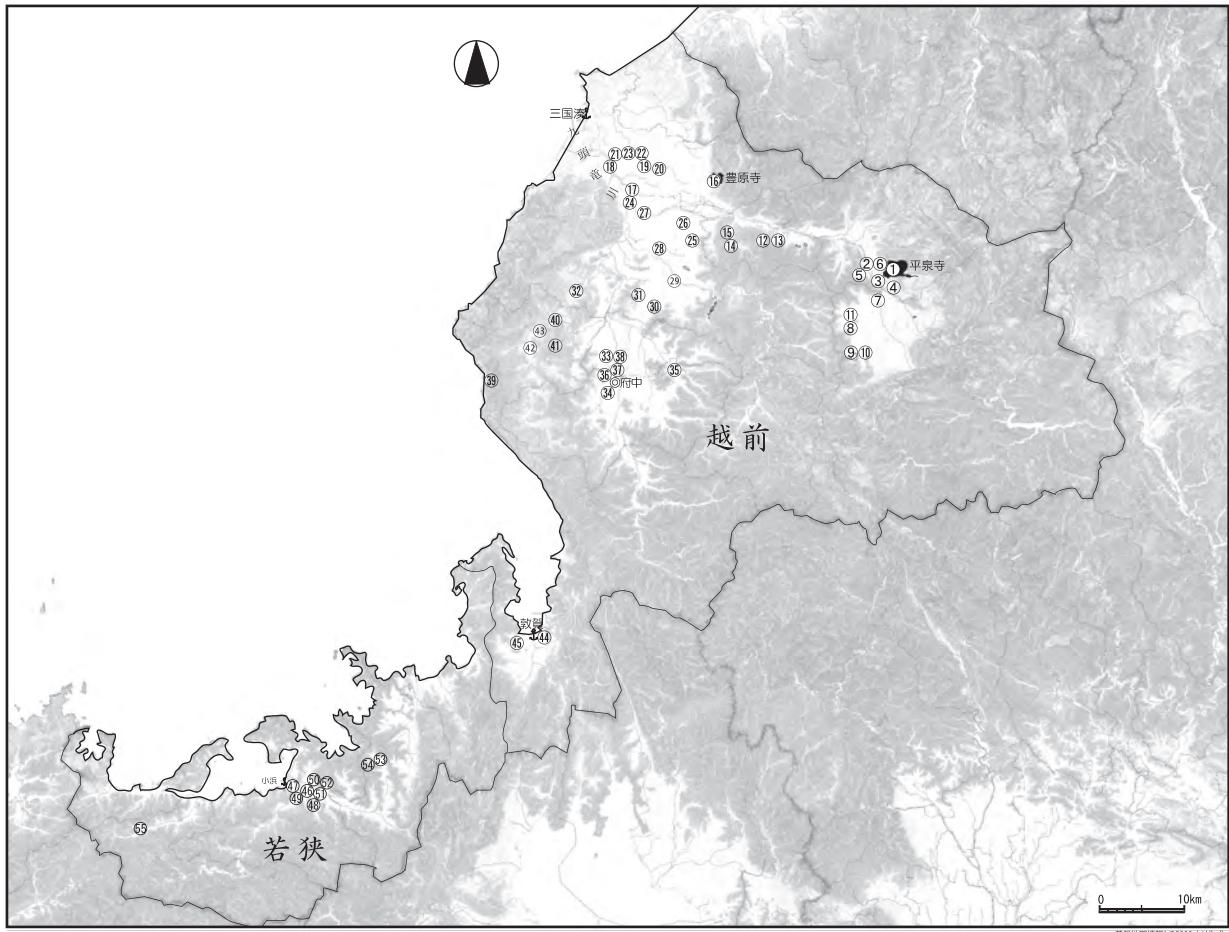


図1 遺跡位置図

【引用報告書】

- 1 勝山市教育委員会 2011 『白山平泉寺遺跡－急傾斜地崩壊対策工事に伴う発掘調査－』
 2 勝山市教育委員会 2012 『白山平泉寺遺跡－急傾斜地崩壊対策工事等に伴う発掘調査－』
 3 勝山市教育委員会 2001 『荒土町杉原遺跡』
 4 勝山市教育委員会 2000 『猪野口南幅遺跡』
 5 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 1998 『大渡西布遺跡 大渡城山古墳』
 6 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2009 『志田神田遺跡』
 7 勝山市教育委員会 2013 『三谷遺跡
 －勝山市新体育館建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告－』
 8 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2013 『太田・小矢戸遺跡』
 9 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2015 『太田・小矢戸遺跡』
 10 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2004 『下丁遺跡』
 11 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 1998 『下黒谷遺跡』
 12 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2012 『上舌遺跡』
 13 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 1995 『尾永見遺跡 下田遺跡 繩境遺跡 犬山遺跡』
 14 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 1997 『尾永見遺跡Ⅱ』
 15 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2014 『堂山城跡 谷口西谷古墳群』
 16 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2012 『轟遺跡』
 17 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2003 『京善藤谷口遺跡』
 18 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2008 『諫訪間興行寺遺跡』
 19 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2012 『諫訪間興行寺遺跡2』
 20 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 1980～1985 『豊原寺1～6』
 21 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2008 『江留下遺跡（元町地区）』
 22 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2005 『坂井兵庫地区遺跡群 2（遺物編）』
 23 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2013 『大門東遺跡 上藏垣内遺跡』
 24 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2012 『若宮遺跡』
 25 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 1999 『大味地区遺跡群』
 26 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2015 『大味上遺跡 大味中遺跡 下番荒谷遺跡』
 27 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2013 『大門東遺跡 上藏垣内遺跡』
 28 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2011 『福井城跡－JR北陸線外2線連続立体交差事業（高架測道5号線）に伴う調査－』
 29 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2002 『小稻津遺跡』
 30 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2014 『糞置遺跡』
 31 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 1999 『今市遺跡（豆田地区）』
 32 清水町教育委員会 1998 『越前・明寺山廃寺』
 33 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2013 『安丸官人遺跡』
 34 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2014 『安丸官人遺跡』
 35 武生市教育委員会 2004 『徳神遺跡』
 36 今立町教育委員会 1997 『戸板山古墳群Ⅱ』
 37 越前市教育委員会 2013 『越前国府関連遺跡・岡本山古墳群』
 38 北陸中世土器研究会 1997 『中・近世の北陸』桂書房
 39 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2008 『持明寺遺跡』
 40 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2008 『厨海円寺遺跡・厨遺跡』
 41 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2001 『小倉石町遺跡』
 42 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2015 『天王前山古墳群』
 43 越前町教育委員会 2013 『越前町織田文化歴史館館報第8号』
 44 越前町教育委員会 2006 『朝日山古墳群・佐々生窯跡・大谷寺遺跡』
 45 敦賀市教育委員会 2001 『舞崎前山古墳舞崎遺跡』
 46 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2010 『木崎山城跡・木崎遺跡』
 47 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2011 『木崎山城跡・木崎遺跡』
 48 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2009 『西繩手下遺跡発掘調査報告書2』
 49 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2011 『府中石田遺跡 第1分冊（本文編）』
 50 小浜市教育委員会 2006 『小浜市重要遺跡確認調査報告書2』
 51 小浜市教育委員会 2006 『小浜市重要遺跡確認調査報告書2』
 52 小浜市教育委員会 2004 『加茂遺跡発掘調査報告書』
 53 小浜市教育委員会 2001 『小浜市重要遺跡確認調査報告書1』
 54 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2012 『黒田寺跡・下山古墳群』
 55 福井県教育厅埋蔵文化財調査センター 2008 『持明寺遺跡』

表1 中世前半の輸入陶磁器報告数